

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2022年10月11日
研究期間	2025年12月31日 まで
研究の名称	膵癌術前化学療法時の遠位悪性胆道狭窄に対する内視鏡的胆道ドレナージにおける10Fr プラスチックステントの有用性の検討
研究対象	2019年10月から2022年8月に腫瘍による胆管の狭窄により閉塞性の黄疸を合併した切除可能膵癌を有する患者さんで、閉塞性黄疸に対してドレナージ目的でERCPを施行し10Frプラスチックステントを留置し、その後術前化学療法を施行した患者さん。
対象材料	診療記録
対象期間	2019年10月～2022年8月
研究の目的意義	膵癌診療ガイドライン2019において、切除可能膵癌に対して術前の補助化学療法を実施することが提案され、現在標準治療となっています。 腫瘍による閉塞性の黄疸を有する膵癌患者で、術前の化学療法を行う場合の内視鏡的胆道ドレナージには自己拡張型メタリックステントの有用性が報告されていますが、ERCP後膵炎リスクやコスト面など解決すべき問題があります。以前我々は、術前加療がない遠位悪性胆道狭窄に対し10Frプラスチックステントの有用性を報告しており、今回膵癌術前化学療法施行症例に対しても10Frプラスチックステントが有用であるかを検討します。
方法	2019年10月から2022年8月に遠位悪性胆道狭窄を伴う切除可能膵癌に対してドレナージ目的で10Frプラスチックステントを留置し、その後術前化学療法を施行した患者において10Frプラスチックステントの開存率、開存期間および安全性を診療カルテから検討を行います。
個人情報の取り扱い	個人情報は、外部との接続のない電子カルテ内の診療科ホルダー内に保管し、パスワードで管理を行います。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 松本健吾 Tel:06-6843-0101